

1-2

下排水処理施設などの整備



目次

公共下水道事業.....	1
矢部川流域下水道事業.....	2
排水設備業務	3
水洗化等排水設備工事費補助金交付事業	5
下水道事業受益者負担金賦課・徴収事務	7
下水道維持・管理業務.....	9

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 785

事務事業名 公共下水道事業

部 建設経済部

担当部署 上下水道課工務係

施策体系

- 政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり
 施策 2 下排水処理施設等の整備

費用便益結果 別 難数 1.62

根拠法令等 都市計画法
 下水道法

作成日 平成25年 7月17日

事業開始 平成10年度
 事業終了 平成48年度

事業開始の経緯

生活排水による飲料水・農業用水の汚染等、水辺環境の悪化が問題となり、社会的にも対策の必要性和緊急性が深く認識され生活排水を適切に処理することを目的に開始された。

必要度合 投資額や事業リスクにより民間では不可能

基本事業 公共下水道整備推進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
整備進捗率	%	平成10	平成48
計算式		基準値	目標値
(整備済累計面積/計画面積)			100.00
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
水洗化率	%		
計算式		基準値	目標値
(水洗化人口/計画人口)			
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
		基準値	目標値
計算式			
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
		基準値	目標値
計算式			

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果(整備後、供用後)	・公共用水域（河川・水路・溜池等）の水質の保全 ・快適で衛生的な生活が出来る生活環境の改善
②利害関係者	し尿汲取り業者
③成果に影響のある外部要因	供用開始地区内に居住する方々の下水道への理解と接続率
④整備内容・整備期間、規模・整備総事業費など	全体計画は平成21年に見直しを行っており、整備期間を平成10年度～平成48年度、計画区域面積1,029ha、総事業費30,592百万円である。現在、第1期事業計画区域面積424ha、事業費1,928百万円を整備中であり、平成18年度より供用開始済。なお、平成24年度に羽犬塚を中心とした71haを第2期事業計画区域として策定し、平成25年度以降の整備計画を検討。
⑤関連事業	矢部川流域下水道事業・合併浄化槽補助事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成48年度
① 整備計画	① 下水道管網整備	→	→	→	→	→	→	●
	②							
	③							
	④							
	⑤							
② 実績	① 下水道管網整備	→	→	→	→	→	→	
	②							
	③							
	④							
	⑤							

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 785

事務事業名 公共下水道事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	48年度計画
③予算額・決算額	千円 199,181	198,368	308,197	810,000	810,000	810,000	810,000	810,000
国・県支出金	千円 0	146,000	146,000	283,500	283,500	283,500	283,500	283,500
その他財源	千円 0	0	0	40,300	40,500	40,500	40,500	40,500
地方債	千円 0	0	130,500	486,000	486,000	486,000	486,000	486,000
一般財源	千円 199,181	198,368	31,697	200	0	0	0	0
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円 199,181	198,368	308,197	810,000	810,000	810,000	810,000	810,000
成果指標①	% 36.60	37.60	41.20	43.70	46.30	48.90	51.40	100.00
②	% 25.80	27.10	28.40	30.60	32.80	35.00	37.30	79.20
③	% 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④	% 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化	水質環境問題に対する市民のニーズは高い。ただし、多大な事業費を必要とする本事業を取り巻く環境（財政面）は非常に厳しい。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	あまり順調でない 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費 拡大	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 786

事務事業名 矢部川流域下水道事業

部 建設経済部

担当部署 上下水道課工務係

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 2 下排水処理施設等の整備

費用便益結果

→数値

根拠法令
要綱等
都市計画法
下水道法

作成日 平成25年 7月17日

事業開始 平成 9年度
事業終了 平成45年度

事業開始の経緯

生活排水による飲料水・農業用水の汚染等、水辺環境の悪化が問題となり、社会的にも対策の必要性和緊急性が深く認識され生活排水を適切に処理することを目的に開始された。

必要度合 投資額や事業リスクにより民間では不可能

基本事業 公共下水道整備推進

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
整備進捗率	%		
計算式		基準値	目標値
当年度までの実績(事業費) / 全体計画(事業費)			
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果 (整備後、供用後)	・公共用水域（河川、水路、溜池等）の水質改善 ・快適で衛生的な生活が出来る環境改善
②利害関係者	し尿取り業者
③成果に影響のある 外部要因	・施設（幹線管渠、終末処理場）周辺住民の反対運動 ・国・県の下水道事業の制度改正により事業費に多大な影響がある。
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	事業主体は福岡県が行い、整備期間としては平成9年度～平成45年度までの計画で、幹線管渠40,825m・終末処理場・ポンプ施設等がある。全体事業費としては約432億円となり、筑後市負担割合は38.9%である。また事務事業としては、施設工事に伴う県と地元の連絡調整及び流域事務局として関連市町との連絡調整がある。
⑤関連事業	筑後市矢部川流域関連公共下水道事業・合併浄化槽補助事業

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成45年度
① 整備計画	① 流域幹線建設	→	→	→	→	→	→	●
	② 処理場建設	→	→	→	→	→	→	●
	③							
	④							
	⑤							
② 実績	① 流域幹線建設	→	→	→	→	→	→	
	② 処理場建設	→	→	→	→	→	→	
	③							
	④							
	⑤							

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 786

事務事業名 矢部川流域下水道事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	45年度計画
③予算額・決算額	千円 116,837	99,510	102,339	56,200	53,100	5,900	40,200	71,700
国・県支出金	千円 0	0	0	0	0	0	0	0
その他財源	千円 0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円 114,600	0	99,200	54,200	51,100	3,900	38,200	69,700
一般財源	千円 2,237	99,510	3,139	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0	0	0	0	0	0	0
⑩総コスト(③+⑨)	千円 116,837	99,510	102,339	56,200	53,100	5,900	40,200	71,700
成果指標①	% 75.30	77.40	79.40	79.00	81.00	83.00	85.00	0.00
②	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

3. 環境変化と評価

環境変化	水環境問題として市民のニーズは高く、事業の役割は大きい。ただし、多大な事業費を必要とする本事業を取り巻く環境（財政面）は非常に厳しい。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	順調である 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない 余剰削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長 櫻井清隆	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費 縮小	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 791 事務事業名 排水設備業務

部 建設経済部

担当部署 上下水道課工務係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 2 下排水処理施設等の整備

上位施策のねらい
公共用水域の水質が改善され、快適で衛生的な生活環境になっている。

基本事業 水洗化の普及促進

根拠法令・要綱等	下水道法	作成日	平成25年 7月17日
		事業開始	
		事業終了	

必要度合 法律で実施が義務付けられている

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

浄化槽完了検査（かんきょう課） 給水設備検査（水道局）

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 不明水等の浸入を未然に防ぎ、公共下水道にて処理を行う汚水量を減らすことにより、処理コストの高騰化を防止する ・ 適切に排水設備が施工されることにより、各家庭の汚水が円滑に排除され、伝染病発生抑止や各戸での排水設備の維持管理費用の軽減に寄与する ・ 排水設備の検査を通じて、指定工事店の技術力や質が向上し、「お客様」からクレーム等のない工事店の育成に寄与する
--

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	公共下水道利用者	指定工事店 尿汲取り業者 浄化槽管理者	各種製品メーカー 各種工法協会

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道への接続申請書の書類及び計画設計図の事前審査 ・ 施工が完了した排水設備の実地検査 ・ 公共下水道使用許可 ・ 指定工事店の指導、育成等
--

成果指標名①	単位
公共下水道接続戸数	戸
計算式	

成果指標名②	単位
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
排水設備検査件数	件
活動指標名②	単位

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
計画	工事店指導・育成 排水設備検査								
	指定工事店 研修会1回 排水設備検査 229件								
年度別計画	ア 予算額・決算額	千円							
	国・県支出金		0	1	311	0	0	0	
	その他財源		0	0	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0	0	
	一般財源		0	1	311	0	0	0	
	イ 従事者数(正規)	人	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97	0.97
	ウ 年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ 従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ 年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ 従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ 総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	6,447	6,448	6,758	6,447	6,447	6,447	6,447	
ク 成果指標①	戸	229.00	0.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	②	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ケ 活動指標①	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	②	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	③	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	④	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
コ 活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 791 事務事業名 排水設備業務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	大
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 櫻井清隆	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少	改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案	
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 793 事務事業名 水洗化等排水設備工事費補助金交付事業

部 建設経済部

担当部署 上下水道課庶務係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 2 下排水処理施設等の整備

上位施策のねらい
公共用水域の水質が改善され、快適で衛生的な生活環境になっている。

基本事業 水洗化の普及促進

根拠法令・要綱等	下水道法	作成日	平成25年 7月17日
	筑後市水洗化等排水設備工事費補助金交付要綱	事業開始	平成18年度
		事業終了	

必要度合 投資額や事業リスクにより民間では不可能

1. 事務事業の目的、指標等 類似事務事業

--	--

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

排水設備工事をして公共下水道へ接続する方に対し、資金援助を行うことにより、水洗化を促進（接続率を向上）させ、下水道の目的である自然環境・生活環境の早期改善につなげる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	供用開始区域内の下水道接続者	指定工事店、し尿汲取り業者	福岡県、矢部川流域下水道関連市町

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

水洗化等排水設備工事費補助金交付制度については、基本となる下水道条例等の制度を踏まえ、一般住宅用地における工事に限り、その工事費用の50%を限度に、1年目10万円、2年目8万円、3年め5万円を補助金として交付する。

成果指標名①	単位
水洗化率（接続率）	%
計算式（水洗化人口／計画人口）	

成果指標名②	単位
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位
補助金交付申請件数	件
活動指標名②	単位

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	補助金交付			補助金交付普及促進国庫補助申請	補助金交付普及促進国庫補助申請	補助金交付普及促進国庫補助申請	補助金交付普及促進国庫補助申請	補助金交付普及促進国庫補助申請
年度別計画	補助金交付		補助金交付普及促進国庫補助申請					
ア予算額・決算額	千円	15,141	10,432	8,060	10,000	10,000	10,000	10,000
国・県支出金		0	5,000	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000
その他財源		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		15,141	5,432	4,060	5,000	5,000	5,000	5,000
イ従事者数(正規)	人	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67
ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	19,594	14,885	12,513	14,453	14,453	14,453	14,453
ク成果指標①	%	61.20	65.70	70.00	71.00	72.00	73.00	74.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ活動指標①	件	156.00	118.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ活動1件当たりコスト	千円	97.0	88.4	40.3	50.0	50.0	50.0	50.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 793 事務事業名 水洗化等排水設備工事費補助金交付事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	さらに支給対象の拡充が求められている。
--------------------------------------	---------------------

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	下水道接続を推進するためには必要である。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
	対象者は、下水道の供用開始区域内に建物を所有している方等。		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	小
	接続工事費が高額なため、接続を推進するためには大変有効である。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	事務手続きは、補助金交付申請 ⇒ 実績報告 ⇒ 支払いと簡潔である。 国庫補助（1/2）の申請を行い、一般財源を押さえる。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 795 事務事業名 下水道事業受益者負担金賦課・徴収事務

部 建設経済部

担当部署 上下水道課庶務係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 2 下排水処理施設等の整備

上位施策のねらい
公共用水域の水質が改善され、快適で衛生的な生活環境になっている。

基本事業 公共下水道整備推進

根拠法令・要綱等	都市計画法	作成日	平成25年 7月17日
	下水道法	事業開始	平成18年度
		事業終了	

必要度合 **投資額や事業リスクにより民間では不可能**

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

**農業集落排水事業
合併処理浄化槽市町村設置事業**

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

受益範囲に応じて、公平に下水道受益者負担金を賦課し、正確・確実に徴収することにより、公共下水道事業の健全化を図る

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	供用開始区域内の土地所有者		福岡県、矢部川流域下水道関連市町

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

下水道受益者負担金の賦課・徴収については、市の受益者負担金条例に基づき、賦課徴収区域の告示を行い実施した。

成果指標名①	単位
下水道受益者負担金収納率	%
計算式	受益者負担金収納額／受益者負担金調定額
成果指標名②	単位
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
下水道受益者負担金収納額	千円
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	受益者負担金の賦課・徴収	調定額38,278,600円	徴収額26,180,500円 受益者負担金システム改修 下水道データ整備委託	受益者負担金の賦課・徴収	受益者負担金の賦課・徴収	受益者負担金の賦課・徴収	受益者負担金の賦課・徴収	受益者負担金の賦課・徴収
	実績	収納額36,213,200円	収納額24,654,300円 受益者負担金システム改修 下水道データ整備委託					
ア	予算額・決算額	千円	1,460	5,436	1,227	2,500	2,500	2,500
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0
	一般財源		1,460	5,436	1,227	2,500	2,500	2,500
	イ従事者数(正規)	人	0.80	1.20	1.20	1.00	1.00	1.00
	ウ年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
	エ従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	オ年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
	カ従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	キ総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	6,777	13,411	9,202	9,146	9,146	9,146
	ク成果指標①	%	94.60	94.17	100.00	100.00	100.00	100.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	ケ活動指標①	千円	38,832.00	28,025.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	コ活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 795 事務事業名 下水道事業受益者負担金賦課・徴収事務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	法令等により義務付けられている。		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし	下水道整備地区における生活環境の改善と土地の利便性の向上に対する資産価値の増加等を、早期に受ける受益者に建設財源の一部として費用負担を求める。	
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	小
	汚水処理施設整備の貴重な特定財源として位置づけられており、建設財源の一部とする。		
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無
	接続促進を推進する水洗化補助金の交付対象条件との相乗効果を検討する。		

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少		改善案の進捗実施状況 ウ 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u> _____		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 797 事務事業名 下水道維持・管理業務

部 建設経済部

担当部署 上下水道課工務係

事務区分 自治事務

根拠法令・要綱等	下水道法	作成日	平成25年 7月17日
		事業開始	
		事業終了	

必要度合 **投資額や事業リスクにより民間では不可能**

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

浄化槽設置整備事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

公共下水道供用開始後に下水道施設を適切に維持・管理することにより、利用者に支障なく快適に下水道を利用して頂く。また、災害時での早急な復旧体制の確立も含んでいることにより下水道施設の機能回復に要する時間を短縮できる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	下水道利用者		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

公共汚水柵未設置家屋への公共汚水柵設置や、道路管理者の舗装維持補修に伴うマンホール蓋調整。
H23年度より下水道施設維持管理業務の一部委託化。（マンホールポンプ等）

施策体系

政策 1 安全で快適な生活を支えるまちづくり

施策 2 下排水処理施設等の整備

上位施策のねらい
公共用水域の水質が改善され、快適で衛生的な生活環境になっている。

基本事業 汚水処理施設の維持管理

成果指標名①	単位
下水道施設に対する苦情件数	件
計算式	

成果指標名②	単位
下水道施設の詰まり件数	件
計算式	

成果指標名③	単位
計算式	

成果指標名④	単位
計算式	

活動指標名①	単位

活動指標名②	単位

活動指標名③	単位

活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
年度別計画	計画	公共樹新設申請への迅速な対応、下水道施設の適切な維持管理	公共樹新設申請への迅速な対応、下水道施設の適切な維持管理	公共樹新設申請への迅速な対応、下水道施設の適切な維持管理					
	実績	公共樹新設・20箇所 マンホール蓋調整 3箇所							
ア	予算額・決算額	千円	5,134	5,950	17,530	6,000	6,000	6,000	0
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		5,134	5,950	17,530	6,000	6,000	6,000	0
イ	従事者数(正規)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	5,134	5,950	17,530	6,000	6,000	6,000	0
ク	成果指標①	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②	件	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 797 事務事業名 下水道維持・管理業務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	小
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

5. 総合評価

ア 総合評価	課長 	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/> 成果減少	ウ 今後の具体的な対応策、実施案	
次年度の投入資源 事業費 <u>現状維持</u>		